

クラウド型のSAP Business ByDesignで 事業成長を支えるIT基盤の標準化とシンプル化を推進

武州製薬株式会社

SAP Business ByDesign導入事例

日本最大手の医薬品製造開発受託会社(CDMO:Contract Development Manufacturing Organization)として、国内外の製薬企業に高品質な製品/サービスを提供する武州製薬株式会社。急成長を続ける同社は業務システムの統合と効率化を目指し、SaaS方式で提供されるクラウド型ERPソリューションSAP Business ByDesignを採用。NTTデータ グローバルソリューションズの支援を受け、複雑化した業務をシンプル化し、さらなる事業成長を支えるIT基盤を実現しています。

ビジネスが急成長を続ける中 小規模向けシステムの限界に直面

埼玉県川越市に本社を置く武州製薬は、世界的な製薬企業ノバルティスファーマ(旧サンド薬品)の工場として1981年に始まり、1998年に設立した医薬品製造開発受託会社です。現在はグローバル市場対応型のCDMOとして国内外の製薬会社の医薬品/治験薬の開発、製造を手がけています。医薬品の製造/品質管理基準であるGMP認証は、日・米・欧3極に加えて世界10カ国の査察をクリアしています。

経理財務部 部長の長原陽一氏が「最近も大型案件の受託をきっかけに、美里工場への大型投資が決定しています」と語るように、同社のビジネスは急成長の途上にあります。

一方、直面したのは基幹業務を支えるシステムの課題でした。設立以来小規模事業者向けの会計システムを使用してきた同社では、債権/債務のデータは更新のタイミングごとに手作業で抽出し、Excelを用いて加工。購買業務についても外部

に小規模なシステムを手組みで構築し、仕訳を作成していました。生産管理システムのデータも手作業で会計システムと連携していたため、二重入力等の負荷が発生。またいくつものシステムの混在が業務の属人化を招き、効率化の妨げとなりつつありました。

「設立時は社員数200名程度で、取引先や製造品目の数も多くなかったため、小規模システムでも対応が可能でした。現在は2工場、社員数1,000名規模まで大きくなり、製造品目も数百種類に増えています。受託企業の数も常時数十社、ワンタイムの取引先も多くあります。今後の事業拡大に対応するためにも、ERPを導入することにしました」(長原氏)

運用負荷軽減とBCP対策に SAP Business ByDesignを採用

武州製薬は、運用の負荷軽減と事業継続(BCP)対策の観点から、システム環境を自社で保有しないクラウド型ERPを念頭に検討を開始。採用されたのがSaaS方式で提供されるSAP Business ByDesignです。

SAPシステムは世界の製薬業界での実績が豊富で、将来SAP S/4HANAへの移行も考えるなら、マスターが流用できるという判断もありました。導入パートナーは、SAP Business ByDesignの導入実績が豊富なNTTデータ グローバルソリューションズ(以下、NTTデータGSL)を選定しました。「提案時から熱心に足を運んで当社の話を聞き、質問に対しても真摯かつタイムリーに回答をいただけたので、安心感を持って任せられると思いました」(長原氏)



武州製薬株式会社
経理財務部
部長
長原 陽一氏



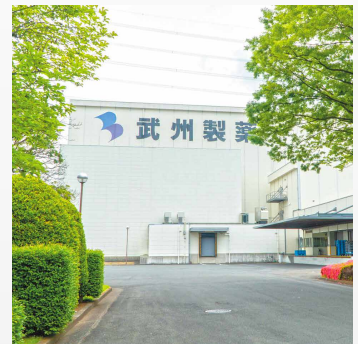
武州製薬株式会社
経理財務部
マネージャー
河田 光俊氏



会社概要

武州製薬株式会社

設立 : 1998年8月3日
資本金 : 10億円
本社所在地 : 埼玉県川越市大字竹野1番地
URL : <https://www.bushu-seiyaku.co.jp/>
事業内容 : 医薬品/治験薬の受託製造

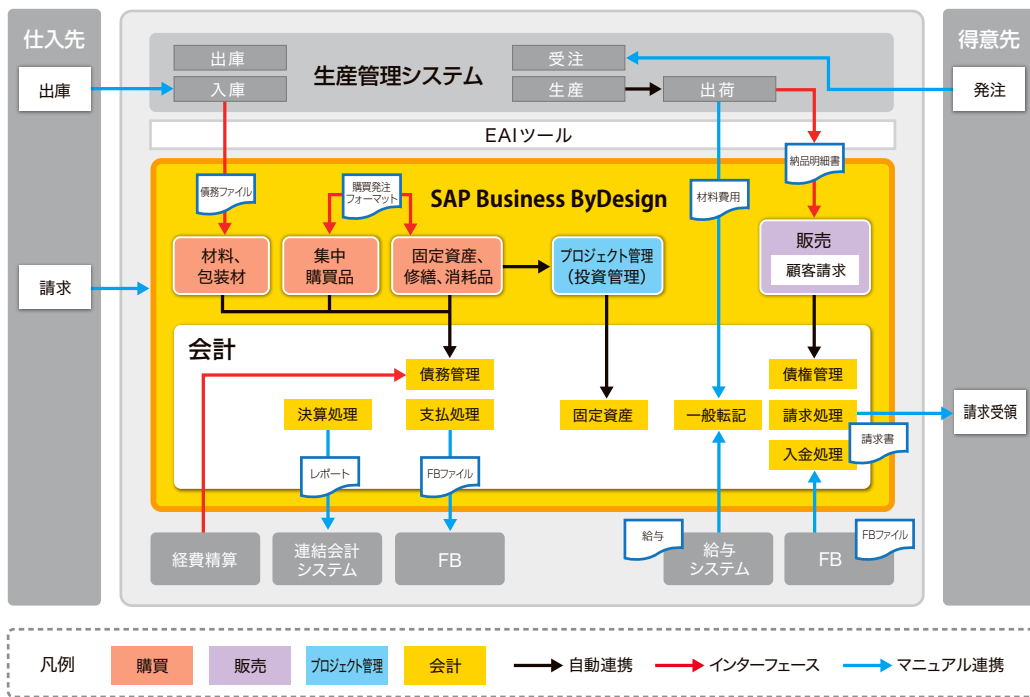


会社紹介

1999年1月より医薬品製造の受託専門会社としてスタート。日本におけるCDMOのリーディングカンパニーとして、国内外の製薬会社の医薬品/治験薬の製造を受託し、世界の医薬品業界を支えています。製造実績は、受託会社累計数が60社、製造品目は製剤製造数が143、包装包種数が400に達し、治験薬受託製造累計数は436となっています(2017年度)。埼玉県の川越市と埼玉県美里町の2カ所に工場があり、それぞれ高品質な医薬品を安定供給するために、停電時においても工場が稼働できるよう重油タンクとジェネレーターを保有しています。

導入ポイント

- ◆ 属人化を排除し、成長に向けた業務体制を整備
- ◆ Fit to Standardにより運用負荷とメンテナンス費用を低減
- ◆ 取引先の支払条件を20→5パターンに削減



システム鳥瞰図

導入プロジェクトは2018年7月にスタートし、12月には本稼働を開始。ポイントは、「Fit to Standard」を掲げてSAP ERPの標準機能を維持したことにあります。導入時のアドオンやカスタマイズは経営陣を中心にトップダウンで判断し、最小限に留めています。「定例会議で現場からの要請を吟味し、NTTデータGSLからアドオン開発の代替案などもいただきながら標準の維持に努めました」（長原氏）

プロジェクトでは部門間の分担を明確化し、業務をシンプル化しています。「プロジェクトには、経理、購買、ITの各部門からメンバーが参加し、積極的に関与して既存の業務を整理しました。移行作業と並行してトレーニングを実施したことで、ユーザーがシステムの操作にも早く慣れ、システム切り替えのタイミングですぐに業務を始めることができました」と、経理財務部マネージャーの河田光俊氏は語ります。

SAP ERP標準機能の活用により 属人的な業務を解消し、自動化も促進

新システムはSAP Business ByDesignの会計、購買の機能を用いて構成しています。既存の生産管理システムとはEAIツールを介して自動連携しているほか、経費精算システムとも連携し、バッチ処理でSAP Business ByDesignに取り込んでいます。

生産管理システムと連携したことで、データの信頼性も大幅に向上。債権/債務の管理についても二重入力がなくなり、タイムリーにデータを

確認できるようになっています。業務の標準化を進めた結果、管理業務は大幅に効率化され、属人化も解消されました。

また、従来はサプライヤー向け支払条件の種類が多く、支払業務に多くの人の手を介していました。ERP導入を契機としてサプライヤーと交渉、調整して20種類あった支払条件を5種類まで削減し、月末締めで統一。フォームについても、顧客請求書と締め請求書の2種類を自動作成に切り替えました。レポートも債権/債務、固定資産台帳、原価予実比較など8種類を自動作成に切り替えて工数の削減を図っています。

「従来は伝票を作ってから支払データを手作業で入力していましたが、現在はすべて自動化され、入力ミスも、チェック時間も大きく減っています。請求処理も固定資産処理も同様で、それまで一部の伝票入力業務として利用していた外注委託を解消することで、1.5人分の工数が削減できました」（河田氏）

SaaSソリューションを採用したことで、IT部門に新たなシステム運用負荷がかかることもなくなっています。今後のサーバー更新や、事業成長に合わせてサーバーの増強などが発生する心配もありません。導入時にアドオンを最小化したことで、稼働後のサポートやメンテナンスも簡素化され、ランニングコストの低減も期待されています。

経営指標を可視化し 経営の高度化の実現へ

武州製薬では2019年3月の決算報告を終え、

今後はシステムの活用レベルを高めながら、業務の定着と改善に取り組んでいく考えです。さらに長原氏は、データベースに蓄積されていく会計、購買、販売、生産などの実績データをもとに、経営指標を可視化しながら経営判断に役立てていくと語ります。

「SAP Business ByDesignの標準機能（予実管理/KPIデザイン）を活用して経営に必要な指標を作成し、委託元の売上高、製品別の売上高など細かいメッシュで見ながら分析していきます。BIツールの導入も検討中で、過去データも含めた統合データベースを構築し、過年度分析などもできるようにしていきたいと思っています」

現在SAP ERPの外部で稼働している生産管理システムについても、システムの統合や更新を検討しながら工場のIT高度化を進めていく方針です。生産領域については、原価管理システムや倉庫管理システム(WMS)など、周辺システムの再考も今後の課題だといえます。

導入を支援したNTTデータGSLに対して、河田氏は「導入中や稼働直後に発生した操作面や機能面の課題についても迅速に対応いただき、改善点のアドバイスをもとに使いやすい環境を作ることができました。今後も引き続き、相談に乗っていただけたらと思います」と話しています。

「世界の医薬品産業の発展と人々の健康のために」をミッションに、生産体制の強化を進める武州製薬。SAP Business ByDesignによってシンプル化した基幹システムは、同社の事業成長をフレキシブルに支えていきます。

株式会社NTTデータ グローバルソリューションズ

E-mail infoevent@nttdata-gsl.co.jp URL <https://www.nttdata-gsl.co.jp/>

【本社】 〒104-0045 東京都中央区築地5-6-4 浜離宮三井ビルディング 4F
 【西日本オフィス】 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-6-8 センバ・セントラルビル 3F

※SAP及びその他のSAPの製品やサービスは、ドイツ及びその他の国におけるSAP SE(またはSAPの関連会社)の商標もしくは登録商標です。
 ※その他記載されている、会社名、製品名、ロゴなどは、各社の登録商標または、商標です。
 ※本リーフレットに掲載されているロゴ、文章、写真その他のイラストを無断で転載、複製、再利用を禁止します。
 ※記載されている企業名および担当者の情報は取材当時のものです。

Facebook 公開中！

「いいね！」して下さい！

いいね！

<https://www.facebook.com/nttdatagsl>